

報道機関のみなさまへ

情報提供日	平成 29 年(2017 年) 5 月 26 日 No.2905
問い合わせ先	産業振興部 市立天文科学館 (岸本)
	078-919-5000 (内線 7151)

天文科学館の「トケイソウ」が開花しました！

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、6 月 10 日「時の記念日」を前に、当館敷地内で育てている「トケイソウ」の花が開花いたしましたのでお知らせします。

何卒、貴メディアで報道・ご紹介いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

1 「トケイソウ」とは？

学名：*Passiflora caerulea* 英名：*passion flower*

トケイソウは南米ブラジル原産の「常緑つる性多年草」です。

花の形が時計の文字盤に見え、雌しべが長針、短針、秒針の 3 本の針に見えるので「時計草」の名前が付けました。

英名は、雌しべが十字架に張り付けられたキリストに見えることから「パッション(キリスト受難) フラワー」と呼ばれています。

このような派手な形と色は、原産地で昆虫を誘うためのものだと言われています。

ちなみに、ジュースなどに使用される果物の「パッションフルーツ」は、別種の「クダモノトケイソウ」のことです。当館のトケイソウも花の後に小さな果実ができることがあります。すぐに落下するため食用にはなりません。

2 花の見ごろ

トケイソウは6月上旬から8月にかけて美しい花を咲かせます。

この花が咲き始めると「時の記念日」が近いことを表しています。

天文科学館では正門を入ってすぐ南側のプランターでトケイソウを育てています。

